

第2期

伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン（変更案）

2022（令和4）年4月

（202●（令和●）年●月変更）

三重県伊賀市

京都府笠置町

南山城村

奈良県山添村

三重県名張市

*** 目 次 ***

第 1 章 定住自立圏共生ビジョンの基本的事項

1. 定住自立圏の名称 1

2. 圏域を構成する市町村の名称 1

3. 定住自立圏共生ビジョンの目的 1

4. 定住自立圏共生ビジョンの期間 1

ページ数は最後に調整します。

第 2 章 圏域の概況

1. 圏域を構成する市町村の概要

2. 各市町村の人口と面積

3. 伊賀・山城南・東大和定住自立圏の経緯

4. 圏域の状況

第 3 章 第 1 期の振り返り

1. 第 1 期共生ビジョンの主な取り組み

2. 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

第 4 章 圏域の将来像

1. 圏域の将来像

2. 圏域人口の将来展望

3. 圏域の高齢化率の将来展望

4. 中心市と連携市町村の役割

5. 共生ビジョンの進行管理

第 5 章 伊賀・山城南・東大和定住自立圏の取り組み

1. 協定項目一覧表

2. 具体的な取り組みの体系図

第 6 章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取り組み

1. 協定の内容

2. 具体的取組事項に係る成果指標（KPI）一覧

3. 具体的取組事項【1】生活機能の強化に係る分野

 具体的取組事項【2】結びつきやネットワークの強化に係る分野

 具体的取組事項【3】圏域マネジメント能力の強化に係る分野

資料編

1. 共生ビジョン懇談会設置要綱

2. 共生ビジョン懇談会委員名簿

3. 共生ビジョン策定及び変更経過

4. 定住自立圏構想中心市宣言

1

第2章 圏域の概況

1. 圏域を構成する市町村の概要

伊賀市		所在地	概況	伊賀市は、三重県の北西部に位置し、四方を山々に囲まれた盆地で豊かな自然に恵まれています。京都・奈良と伊勢を結ぶ大和街道・伊賀街道・初瀬街道を有し、古来より都（飛鳥、奈良、京都など）に隣接する地域として、また、交通の要衝として、江戸時代には藤堂家の城下町や伊勢神宮への参宮者の宿場町として栄えてきました。このような地理的・歴史的背景から京・大和文化の影響を強く受けながらも独自の文化を醸成し、伊賀流忍者発祥の地、俳聖松尾芭蕉や横光利一のふるさととして、また、吉田兼好ゆかりの地としても広く知られており、歴史文化の薫る地域となっています。  伊賀盆地 伊賀上野城 ユネスコ登録された 上野天神祭の ダンジリ行事
		三重県伊賀市四十九町 3184 番地		
		URL・QR コード		
		https://www.city.iga.lg.jp/ 		
笠置町		所在地	概況	笠置町は、京都府の南端に位置し、府内で一番人口の少ない町です。町のシンボルでもある笠置山は古くから信仰の対象とされ、山頂の笠置寺には日本一といわれる弥勒大磨崖仏があります。また、後醍醐天皇の行在所としても知られ、当時をしのぶ史跡も数多く残っています。 四季を通じて豊かな自然を楽しめ、日本の桜名所百選に選定されている桜が春を告げ、秋には笠置山が錦に染まります。笠置町は歴史と美しい自然が調和する町です。  笠置山自然公園 木津川巨岩・巨石群 雲海
		京都府相楽郡笠置町大字笠置小字西通 90 番地の 1		
		URL・QR コード		
		https://www.town.kasagi.lg.jp/ 		
南山城村		所在地	概況	南山城村は、京都府の南東端に位置し、南は奈良県、北は滋賀県、東は三重県に隣接している、京都府で唯一の“村”です。中央には雄大な木津川の流れと、高山ダム湖と夢絃峡の清流が生み出す幽玄美、点在する集落には緑豊かな茶畑が広がり、良質な宇治茶の主産地として知られています。北側には夏場でも清涼な童仙房高原など、豊かな自然と里山の風景を残した元気な村です。  白石・中谷の茶畑 高山ダム 田山花踊り
		京都府相楽郡南山城村大字北大河原小字久保 14 番地 1		
		URL・QR コード		
		https://www.vill.minamiyamashiro.lg.jp/ 		

山添村		所在地	概況	奈良県の北東端に位置する山添村は、大和高原と呼ばれる地域の一角で、東部は三重県伊賀市及び名張市、北部及び西部は奈良市、南部は宇陀市に隣接しています。起伏とゆるやかな傾斜地が多い隆起準平原で、大和茶の栽培が盛んです。観光の中心である神野山は、つつじ、鍋倉溪、神野寺などで知られ、県立月ヶ瀬神野山自然公園に指定されています。自然豊かで古い歴史がありながら、国道 25 号と名阪国道が村内を縦断していることから、近隣市町村や都市部へのアクセスも非常に良い村です。		
		奈良県山辺郡山添村大字大西 1 5 1 番地				
		URL・QR コード				
		https://www.vill.yamazoe.nara.jp/life/				
						
						
				里山風景	神野山の星空	めえめえ牧場

名張市		所在地	概況	名張市は、三重県の西部に位置し、近畿・中部両圏の接点にあることから、古くは万葉の時代から東西往来の要所、宿場町として栄えてきました。日本の滝百選等に指定された赤目四十八滝や香落溪など自然豊かな景勝地にも恵まれています。電車によるアクセスの便利さから、関西圏のベッドタウンとして急速に発展し、里山の原風景が広がる農村集落と、成熟した住宅地が共存する街並みが広がっています。また、住民主体のまちづくりや、市民の活動が盛んで市民発のブランドロゴも完成しました。  赤目四十八滝 旧市街地のまち並 市民発のブランドロゴ
		三重県名張市鴻之台 1 番町 1 番地		
		URL・QR コード		
		https://www.city.nabari.lg.jp 		

2. 各市町村の人口と面積

市町村名	人口（人）	面積（k㎡）
伊賀市	84,565	558.23
笠置町	1,066	23.52
南山城村	2,378	64.11
山添村	3,055	66.52
名張市	74,226	129.77
圏域合計	165,290	842.15

※人口は 2024（令和 6）年 12 月末住民基本台帳人口、面積は 2020（令和 2）年国勢調査の数値を用い作成

3. 伊賀・山城南・東大和定住自立圏の経緯

2015（平成 27）年 6 月 24 日に、伊賀市が定住自立圏構想推進要綱に基づく中心市宣言を行いました。中心市宣言後は、圏域形成のため、隣接する名張市、笠置町、南山城村、山添村へ趣旨説明を行い、各自治体担当者により、連携できる可能性がある取り組みについての調査研究を行いました。

2016（平成 28）年度に入り、笠置町及び南山城村と圏域形成に向けて、さらに取り組みを進めることを確認し、6 月 16 日には「伊賀・山城南定住自立圏推進協議会」を設立しました。協議会では、定住自立圏形成協定の対象項目及び取り組み内容について協議し、構成する全ての市町村の 9 月定例議会にて協定締結議案が可決されました。そして 10 月 4 日に合同調印式を開催

し、伊賀市と笠置町、南山城村との間において、伊賀・山城南定住自立圏の形成に関する協定を締結しました。これにより、三重県と京都府の 2 府県にまたがる定住自立圏域が形成されました。

その後、2019（平成 31）年 4 月 24 日に開催した「伊賀・山城南定住自立圏推進協議会」にて、山添村が当圏域で一緒に取り組みを進めていくことが決定され、伊賀市及び山添村の 9 月定例議会にて協定締結議案が可決されました。そして 10 月 8 日に定住自立圏の形成に関する協定を締結し、「伊賀・山城南・東大和定住自立圏」（略称「伊賀城和定住自立圏」）と圏域名を改め、奈良県を含めた 3 府県をまたぐ全国的にも類稀な定住自立圏が形成されました。

さらには、2024（令和 6）年 2 月に、名張市が定住自立圏への加入をめざす方針を示し、2024（令和 6）年 8 月 1 日に開催した「伊賀・山城南・東大和定住自立圏推進協議会」では当圏域で一緒に取り組みを進めていくことが決定されました。そして、伊賀市及び名張市の 9 月定例議会にて協定締結議案が可決され、10 月 22 日に定住自立圏の形成に関する協定を締結しました。これで当圏域の形成は 2 市 1 町 2 村となり、圏域内でのさらなる連携を深め、取り組みを進めていきます。

4. 圏域の状況

（1）総人口の状況

圏域人口は、国勢調査によると 2000（平成 12）年の 195,625 人を境に減少傾向にあります。2020（令和 2）年の国勢調査による圏域人口は、171,914 人で、2015（平成 27）年の 177,070 人と比べ、2.8%（▲5,156 人）減少しており、圏域を形成する伊賀市、笠置町、南山城村、山添村及び名張市のいずれの自治体においても減少し続けています。

また、国立社会保障・人口問題研究所が公表している人口推計によると、今後も本圏域における全自治体の人口は減少し続けると推計されています。2040（令和 22）年の圏域人口は 133,019 人で、2020（令和 2）年と比較すると、約 23%（▲38,895 人）減少すると予測されています。

連携市町村の人口推移・推計

		実績値								推計値			
		1985 (S60)	1990 (H2)	1995 (H7)	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)	2025 (R7)	2030 (R12)	2035 (R17)	2040 (R22)
伊賀市	実数 (人)	96,846	97,752	101,435	101,527	100,623	97,207	90,581	88,766	84,149	79,441	74,749	70,033
	増減率 (%)	－	0.9	3.8	0.1	▲0.9	▲3.4	▲6.8	▲2.0	▲5.2	▲5.6	▲5.9	▲6.3
笠置町	実数 (人)	2,429	2,311	2,223	2,056	1,876	1,626	1,368	1,144	970	825	687	564
	増減率 (%)	－	▲4.9	▲3.8	▲7.5	▲8.8	▲13.3	▲15.9	▲16.4	▲15.2	▲14.9	▲16.7	▲17.9
南山城村	実数 (人)	3,701	3,890	4,024	3,784	3,466	3,078	2,652	2,391	2,128	1,862	1,603	1,351
	増減率 (%)	－	5.1	3.4	▲6.0	▲8.4	▲11.2	▲13.8	▲9.8	▲11.0	▲12.5	▲13.9	▲15.7
山添村	実数 (人)	5,933	5,773	5,420	4,967	4,595	4,107	3,674	3,226	2,871	2,516	2,191	1,868
	増減率 (%)	－	▲3.7	▲6.1	▲8.4	▲7.5	▲10.6	▲10.5	▲12.2	▲11.0	▲12.4	▲12.9	▲14.7
名張市	実数 (人)	56,474	68,933	79,913	83,291	82,156	80,284	78,795	76,387	71,965	68,073	63,766	59,203
	増減率 (%)	－	22.1	15.9	4.2	▲1.4	▲2.3	▲1.9	▲3.1	▲5.8	▲5.4	▲6.3	▲7.2
圏域全体	実数 (人)	165,383	178,659	193,015	195,625	192,716	186,302	177,070	171,914	162,083	152,717	142,996	133,019
	増減率 (%)	－	8.0	8.0	1.4	▲1.5	▲3.3	▲5.0	▲2.8	▲5.7	▲5.8	▲6.4	▲7.0

資料：国立社会保障・人口問題研究所

※伊賀市の 1995（平成 7）年から 2005（平成 17）年までの人口推移の実績値には、国勢調査における「年齢不詳」分を含むため、5 ページに掲載する「年齢 3 区分人口」の内訳を合計した値と一致しません。

（２）年齢３区分人口の状況

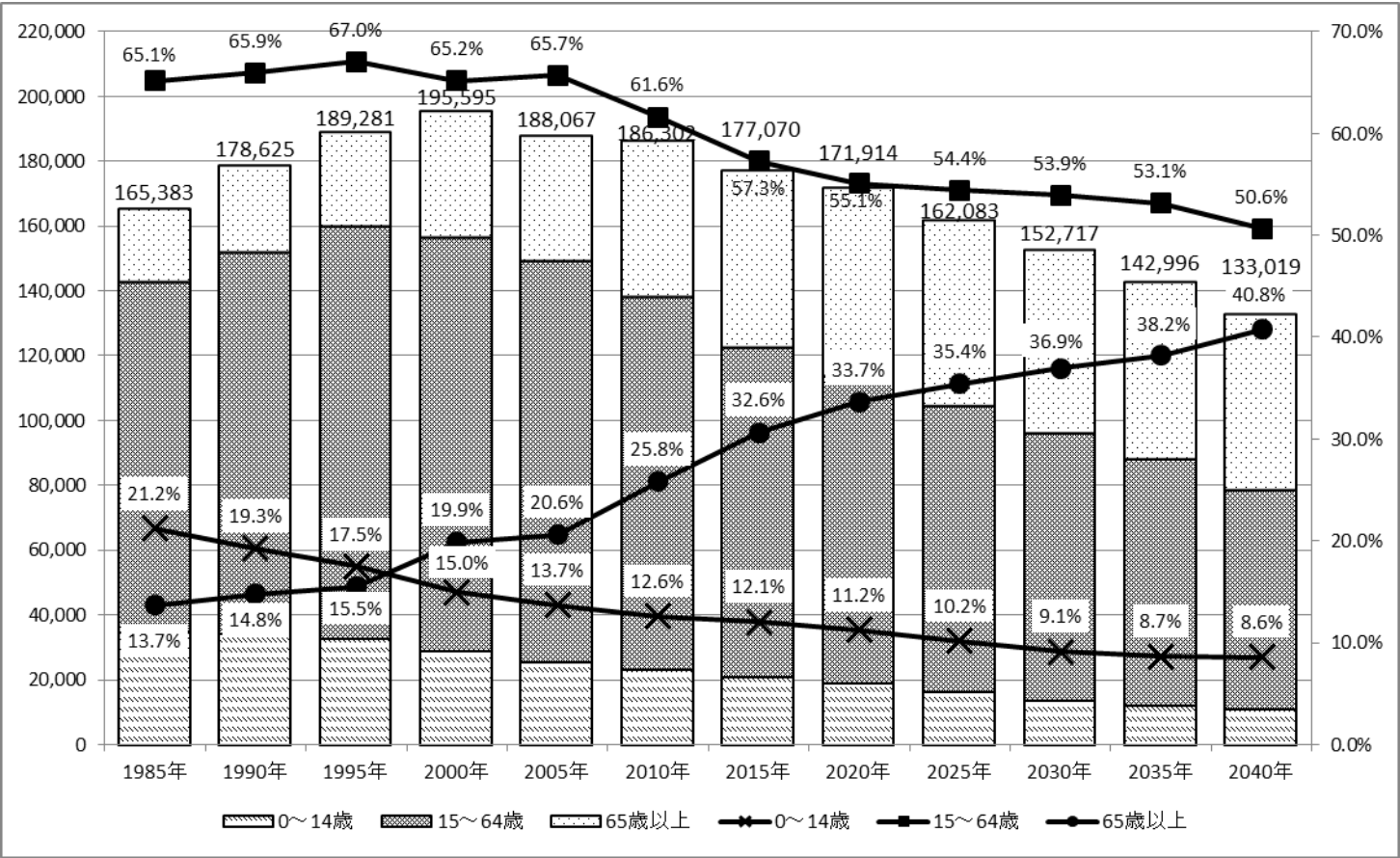
年少人口（0～14 歳）は、1985（昭和 60）年以降、また生産年齢人口（15～64 歳）は、1995（平成 7）年以降に減少し続けており、2000（平成 12）年には、老年人口（65 歳以上）が年少人口を上回りました。老年人口割合は、今後も増加し続け、2040（令和 22）年には 40.8%と推計されており、高齢化が進んでいます。

連携市町村の年齢３区分人口の推移・推計

			実績値								推計値			
			1985 (S60)	1990 (H2)	1995 (H7)	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)	2025 (R7)	2030 (R12)	2035 (R17)	2040 (R22)
伊賀市	年少	実数（人）	18,218	16,780	15,973	14,492	13,200	12,167	10,763	9,699	8,247	7,127	6,462	6,039
		比率（％）	18.8	17.2	15.8	14.3	13.1	12.5	11.9	10.9	9.8	9.0	8.6	8.6
	生産	実数（人）	63,542	63,919	64,940	63,660	62,119	58,273	51,141	49,461	46,818	43,941	40,734	36,543
		比率（％）	65.6	65.4	64.0	62.7	61.7	59.9	56.5	55.7	55.6	55.3	54.5	52.2
笠置町	老年	実数（人）	15,086	17,053	20,490	23,366	25,298	26,767	28,677	29,606	29,084	28,373	27,553	27,451
		比率（％）	15.6	17.4	20.2	23.0	25.1	27.5	31.7	33.4	34.6	35.7	36.9	39.2
	年少	実数（人）	419	374	325	256	183	120	63	49	39	29	22	16
		比率（％）	17.2	16.2	14.6	12.5	9.8	7.4	4.6	4.3	4.0	3.5	3.2	2.8
南山城村	生産	実数（人）	1,631	1,511	1,409	1,254	1,086	893	678	491	377	297	230	161
		比率（％）	67.1	65.4	63.4	61.0	57.9	54.9	49.6	42.9	38.9	36.0	33.5	28.5
	老年	実数（人）	379	426	489	546	607	613	627	604	554	499	435	387
		比率（％）	15.6	18.4	22.0	26.6	32.4	37.7	45.8	52.8	57.1	60.5	63.3	68.6
山添村	年少	実数（人）	738	649	587	454	338	250	175	154	128	107	77	60
		比率（％）	19.9	16.7	14.6	12.0	9.8	8.1	6.6	6.4	6.0	5.7	4.8	4.4
	生産	実数（人）	2,367	2,557	2,614	2,400	2,096	1,744	1,361	1,077	881	727	612	467
		比率（％）	64.0	65.7	65.0	63.4	60.5	56.7	51.3	45.0	41.4	39.0	38.2	34.6
名張市	老年	実数（人）	596	684	823	930	1,032	1,084	1,116	1,160	1,119	1,028	914	824
		比率（％）	16.1	17.6	20.5	24.6	29.8	35.2	42.1	48.5	52.6	55.2	57	61
	年少	実数（人）	1,124	975	746	537	415	356	304	255	194	145	114	94
		比率（％）	18.9	16.9	13.8	10.8	9.0	8.7	8.3	7.9	6.8	5.8	5.2	5.0
圏域全体	生産	実数（人）	3,697	3,535	3,255	2,883	2,632	2,261	1,815	1,401	1,160	995	868	698
		比率（％）	62.3	61.2	60.1	58.0	57.3	55.1	49.4	43.4	40.4	39.5	39.6	37.4
	老年	実数（人）	1,112	1,263	1,419	1,547	1,548	1,490	1,555	1,570	1,517	1,376	1,209	1,076
		比率（％）	18.7	21.9	26.2	31.1	33.7	36.3	42.3	48.7	52.8	54.7	55.2	57.6
圏域全体	年少	実数（人）	14,534	15,667	15,460	13,552	11,603	10,560	10,060	9,155	7,885	6,540	5,707	5,227
		比率（％）	25.7	22.7	20.3	16.3	15.0	13.2	12.8	12.0	11.0	9.6	8.9	8.8
	生産	実数（人）	36,492	46,273	54,642	57,269	55,593	51,424	46,462	42,309	38,938	36,406	33,538	29,504
		比率（％）	64.6	67.2	71.7	68.8	71.7	64.2	59.0	55.4	54.1	53.5	52.6	49.8
圏域全体	老年	実数（人）	5,448	6,959	6,077	12,440	10,311	18,066	22,273	24,923	25,142	25,127	24,521	24,472
		比率（％）	9.6	10.1	8.0	14.9	13.3	22.6	28.3	32.6	34.9	36.9	38.5	41.3
圏域全体	年少	実数（人）	35,033	34,445	33,091	29,291	25,739	23,453	21,365	19,312	16,493	13,948	12,382	11,436
		比率（％）	21.2	19.3	17.5	15.0	13.7	12.6	12.1	11.2	10.2	9.1	8.7	8.6
	生産	実数（人）	107,729	117,795	126,860	127,466	123,526	114,595	101,457	94,739	88,174	82,366	75,982	67,373
		比率（％）	65.1	65.9	67.0	65.2	65.7	61.6	57.3	55.1	54.4	53.9	53.1	50.6
圏域全体	老年	実数（人）	22,621	26,385	29,298	38,829	38,796	48,020	54,248	57,863	57,416	56,403	54,632	54,210
		比率（％）	13.7	14.8	15.5	19.9	20.6	25.8	30.6	33.7	35.4	36.9	38.2	40.8

資料：国立社会保障・人口問題研究所

圏域全体の年齢３区分人口の推移・推計



資料：国立社会保障・人口問題研究所

（３）伊賀市への通勤・通学の状況

中心市である伊賀市には、笠置町、南山城村、山添村及び名張市から多くの住民が通勤・通学しており、雇用面でのつながりが強いことが伺えます。

	通勤通学割合 〔A／B〕（％）	伊賀市に対して通勤通学する 就業者及び通学者数〔A〕（人）	当該市町村に常住する就業者 及び通学者数〔B〕（人）
笠置町	6.4	34	529
南山城村	20.4	241	1,184
山添村	16.3	294	1,800
名張市	20.1	7,924	39,454

資料：2022（令和 2）年国勢調査

(4) 圏域住民の生活に必要な都市機能の利用状況

①医療機能

伊賀市・名張市では、圏域住民の安全・安心な暮らしを支えるために、一次救急医療と二次救急医療のすみわけを進めており、特に二次救急医療体制の確保に向け、実施病院等との連携強化に取り組むなど、地域医療の充実に努めています。

本圏域については、府県をまたぎ、それぞれの地域で医療体制を構築している中で、一定割合の受診者を受け入れており、圏域住民の暮らしを支えています。

◆居住地別外来延患者数（2023（令和5）年度）（人）

	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市	その他	合計
上野総合市民病院	57,540	5	339	568	6,922	3,520	68,894
岡波総合病院	92,025	64	1,099	1,746	18,145	3,418	116,497
名張市立病院	6,183	0	15	484	65,972	2,917	75,571

◆居住地別入院延患者数（2023（令和5）年度）（人）

	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市	その他	合計
上野総合市民病院	52,193	23	335	741	10,601	1,805	65,698
岡波総合病院	66,869	61	575	1,192	18,478	2,570	89,745
名張市立病院	7,378	0	3	562	44,663	2,246	54,852

◆救急車搬送件数（2023（令和5）年度）（人）

	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市	その他	合計
上野総合市民病院	1,511	1	10	31	656	230	2,439
岡波総合病院	2,014	0	5	36	742	20	2,817
名張市立病院	620	0	0	16	1,912	214	2,762

◆圏域内の応急診療所の居住地別患者数（2023（令和5）年度）（人）

	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市	その他	合 計
伊賀市応急診療所	1,964	0	8	32	42	160	2,206
名張市応急診療所	45	0	0	9	1,363	133	1,550

②その他施設

圏域内の市立図書館（図書室含む）や斎苑においても、圏域住民の利用が多いことがうかがえます。特に斎苑については、2020（令和2）年度より新たに定住自立圏域料金を設けることで、連携町村住民の利用について負担の軽減を図りました。2024（令和6）年度の名張市の加入で圏域内でのさらなる連携を深め、取り組みを進めていきます。

◆圏域内市立図書館 図書利用カード登録者数（2023（令和5）年度末現在）（人）

	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市	その他	合計
伊賀市立図書館	17,696	3	107	89	573	212	18,680
名張市立図書館	1,001	0	0	96	18,210	532	19,839

※2019（令和元）年度から過去10年間利用がない登録者を削除

◆圏域内斎苑利用件数（2023（令和5）年度）（件）

	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	名張市	その他	合計
伊賀市斎苑	1,177	0	33	19	7	34	1,270
名張市斎場	136	1	2	29	944	122	1,234

(5) 産業について

圏域における就業人口は、人口減少に伴い減少傾向にあります。**2020（令和2）**の就業人口の割合について、**圏域全体と連携市町村を比較**すると、伊賀市では第2次産業、笠置町では第3次産業、南山城村及び山添村では第1次産業、**名張市では第3次産業**の割合が高くなっています。

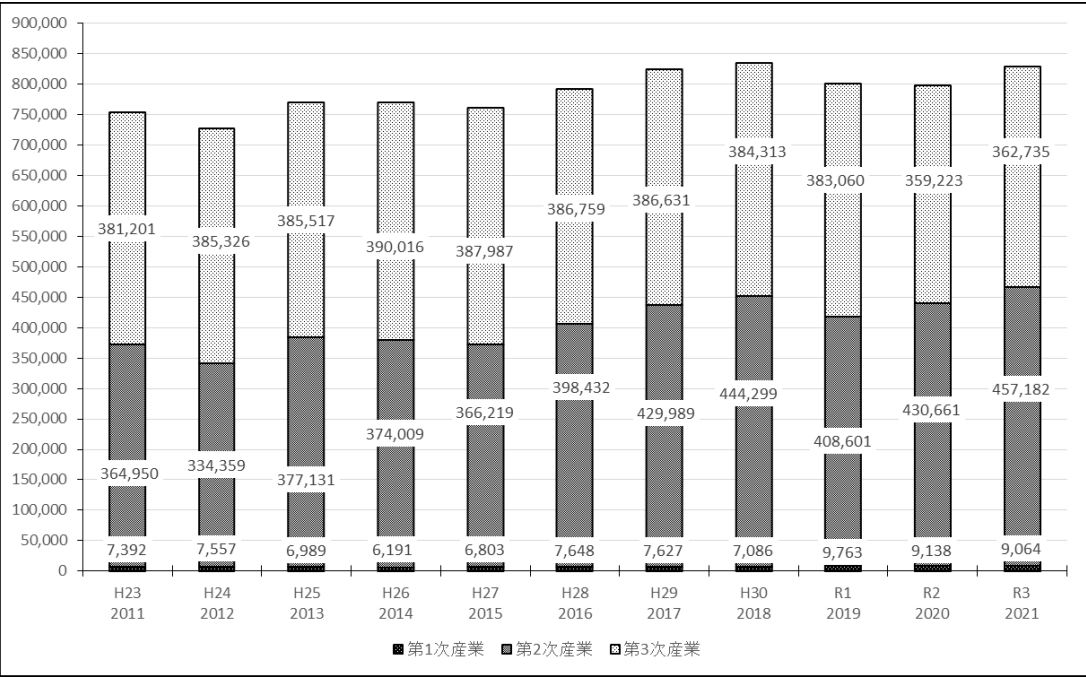
産業別就業人口（割合）

		2005（H17）		2010（H22）		2015（H27）		2020（R2）	
伊賀市	第1次産業	3,763	7.6	2,432	5.5	2,620	6.0	2,307	5.5
	第2次産業	19,250	38.8	17,159	39.2	17,274	39.3	17,009	40.4
	第3次産業	26,545	53.6	24,235	55.3	24,059	54.7	22,782	54.1
笠置町	第1次産業	48	5.5	22	3.2	24	4.0	27	5.3
	第2次産業	212	24.4	165	23.9	131	22.0	112	22.1
	第3次産業	609	70.1	503	72.9	440	74.0	367	72.5
南山城村	第1次産業	362	20.7	250	17.0	188	15.6	188	17.3
	第2次産業	374	21.4	295	20.1	245	20.3	198	18.2
	第3次産業	1,014	57.9	924	62.9	773	64.1	701	64.5
山添村	第1次産業	498	20.8	419	19.9	382	20.8	271	16.7
	第2次産業	664	27.7	602	28.7	513	28.0	478	29.5
	第3次産業	1,237	51.6	1,080	51.4	940	51.2	872	53.8
名張市	第1次産業	1,114	2.8	793	2.2	901	2.5	794	2.2
	第2次産業	13,148	33.6	12,156	33.1	12,101	33.2	11,840	33.5
	第3次産業	24,829	63.5	23,745	64.7	23,443	64.3	22,709	64.3
圏域全体	第1次産業	5,785	6.2	3,916	4.6	4,115	4.9	3,587	4.5
	第2次産業	33,648	35.9	30,377	35.8	30,264	36.0	29,637	36.7
	第3次産業	54,234	57.9	50,487	59.6	49,655	59.1	47,431	58.8
	合計	93,667	100	84,780	100	84,034	100.0	80,655	100.0

※2020（令和2）年国勢調査を用い作成、左欄は人数、右欄は分類不能の産業を除く構成割合

圏域内の産業別総生産の推移

（百万円）



		2011 （H23）	2012 （H24）	2013 （H25）	2014 （H26）	2015 （H27）	2016 （H28）	2017 （H29）	2018 （H30）	2019 （R1）	2020 （R2）	2021 （R3）
伊賀市	第1次	4,795	4,791	4,332	3,728	4,156	4,757	4,692	4,563	7,819	7,387	7,312
	第2次	273,525	250,473	276,100	270,550	260,427	282,722	305,337	316,089	298,161	326,055	345,988
	第3次	217,252	220,575	223,105	228,300	225,338	225,117	225,107	226,015	224,158	209,142	211,802
笠置町	第1次	17	18	17	19	21	20	23	24	25	26	24
	第2次	653	606	610	709	593	1,252	977	1,059	925	1,094	1,241
	第3次	3,025	2,887	2,721	2,623	2,953	3,104	3,063	2,931	2,798	2,482	2,399
南山城村	第1次	790	838	759	688	829	937	987	822	625	469	549
	第2次	652	537	1,176	799	901	1,901	852	798	907	621	1,463
	第3次	4,175	4,044	4,003	3,923	4,269	4,405	4,369	4,202	4,041	3,745	3,652
山添村	第1次	697	740	735	684	735	824	841	640	315	281	282
	第2次	3,560	4,245	5,512	4,472	4,696	6,940	6,822	7,664	10,088	7,815	8,936
	第3次	7,549	7,356	6,901	6,628	6,608	6,835	6,531	6,220	6,068	5,915	5,974
名張市	第1次	1,093	1,170	1,146	1,072	1,062	1,110	1,084	1,037	979	975	897
	第2次	86,560	78,498	93,733	97,479	99,602	105,617	116,001	118,689	98,520	95,076	99,554
	第3次	149,200	150,464	148,787	148,542	148,819	147,298	147,561	144,945	145,995	137,939	138,908
圏域全体	第1次	7,392	7,557	6,989	6,191	6,803	7,648	7,627	7,086	9,763	9,138	9,064
	第2次	364,950	334,359	377,131	374,009	366,219	398,432	429,989	444,299	408,601	430,661	457,182
	第3次	381,201	385,326	385,517	390,016	387,987	386,759	386,631	384,313	383,060	359,223	362,735
	合計	758,792	731,816	775,576	777,187	766,822	796,611	828,591	838,699	805,289	802,707	835,433

※ 令和3年度三重県市町民経済計算、令和3年度京都市町村民経済計算、令和3年度奈良県市町村民経済計算を用い作成、圏域全体の合計は、「第1次」「第2次」「第3次」の合計に「輸入品に課される税・関税等」を加算

第3章 第1期の振り返り

1. 第1期共生ビジョンの主な取り組み

年度	取り組み内容		
2017（平成 29）	・「救急・健康相談ダイヤル 24」を圏域全体に拡大  ・伊賀市消防団と笠置町消防団が消防相互応援協定を締結 ※伊賀市消防団と南山城村消防団とは 2006（平成 18）年に締結済 ・ケーブルテレビ「ウィークリー伊賀市」において、特集「伊賀・山城南定住自立圏」を放映するとともに、連携町村においても同映像を公開	2020（令和 2）	・伊賀市斎苑における圏域町村住民の使用料金均一化 ・ケーブルテレビ、伊賀市公式 YouTube において、4 市町村の首長による圏域住民への PR 動画を放映するとともに、連携町村においても同映像を公開 <伊賀市公式 YouTube「忍者市チャンネル」> https://www.youtube.com/watch?v=Qlu9Kg_FkIM  
2018（平成 30）	・伝統芸能「かんこ踊り」講演会  ・消防団夏季訓練等への相互参加  ・圏域を周遊するバスツアーの実施	2021（令和 3）	・「N-1 グランプリ in いが」の開催  ※圏域団体の紹介や思いを1枚のパネルへ形にすることで、地域で頑張る活動団体を多くの人に知っていただき、住民自らが応援するとともに、行政が表彰することで、活動団体の意欲を高揚させるとともに、住民への活動に対する理解を深め、参加・参画を促すことを目的とする制度
2019（令和元）	・新たに山添村を加え、圏域の名称を「伊賀・山城南・東大和定住自立圏（略称：伊賀城和定住自立圏）」に変更  ・定住自立圏シンポジウム（山添村ふれあいホール）の開催  ・カヌー体験教室の開催 		

2. 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

①圏域証の発行

2020（令和2）年5月、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として、国からの要請で都道府県を跨ぐ移動の自粛について全国的に取り組まれたところですが、当圏域では、圏域住民の皆さんが安心して従来どおりの生活ができるよう、生活圏を共有する証として『圏域証』を発行しました。この取り組みは、マスコミ等に取り上げられ、当圏域のPRにもつながるとともに、圏域としての一体感が強く実感できるものとなりました。



②伊賀市プレミアム付食事券（二次募集分）の販売

2021（令和3）年度、伊賀市プレミアム付商品券事業実行委員会が実施した食事券の販売について、圏域住民も対象に募集を行いました。



第4章 圏域の将来像

1. 圏域の将来像

“水と歴史でつながる圏域” 伊賀・山城南・東大和圏域

伊賀市、笠置町、南山城村、山添村及び名張市で構成される本圏域は、地理的に三重県、京都府、そして奈良県の境にまたがるとともに、東海圏と関西圏の境にも位置しています。また、大阪湾に流入する淀川水系のひとつである木津川、名張川が圏域内を流れており、圏域全体が周囲を山々に囲まれた自然に恵まれた地域です。

古くは和銅の道・大和街道・伊賀街道・初瀬街道が整備され、都と隣接する交通の要所として、また今では圏域内を東西に横断する国道163号、25号、名阪国道やJR関西本線、近鉄大阪線が整備され、中部圏と近畿圏を結ぶ交通の要所となっており、従来から買物、医療、通勤など暮らしに欠かせない生活機能面における人の流れや、住民相互の交流があることもうかがえます。さらには、歴史風土を背景とする観光資源や、恵まれた自然環境から産出される農産物等の特産品も数多くあります。

このように、本圏域は、府県の境にあり、東海圏と関西圏を挟んでいるにも関わらず、従来から様々な面でお互いの繋がりや結びつきが強く、圏域外に誇れる潜在力も高い地域であるといえることから、それぞれの地域が有する都市機能や固有の地域資源等を理解し、お互いが有する強みを持ちより弱みを補い合い、これまでからの繋がりや結びつきをこれまで以上に強めあうことで、魅力ある圏域を創り出すことを目指します。そこで、連携の基本イメージを第1期の『水と歴史でつながる圏域』を引き続き掲げるとともに、以下の2つの視点により、取り組みを推進します。

◆圏域でつながり、暮らしの安心を支える

医療体制や子育て支援、防災体制、働く場所の確保、地域公共交通体制の構築など、地域で暮らす生活基盤の確保・充実を図り、住み続けたい地域で暮らせる圏域をめざします。また、新型コロナウイルス感染症などの新たな危機を、圏域力を高めるチャンスと捉え、各事業の取り組みについては、新たな日常、新しい生活様式を意識したデジタルトランスフォーメーション（DX）¹を推進するとともに、持続可能な開発目標（SDGs）を意識した住み良い圏域をめざします。

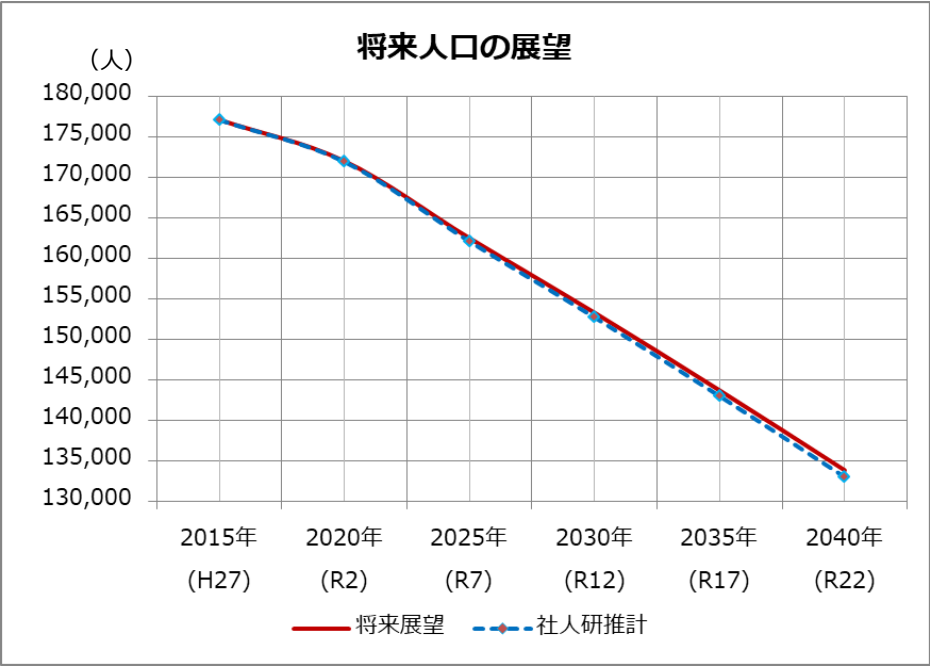
◆活発な交流により、賑わいを創出する

伊賀市、笠置町、南山城村、山添村及び名張市がもつ地域資源、また地域に暮らす人材の交流等により、圏域全体で多様な資源の魅力を高め、賑わいの創出をめざします。特に、幼少期から圏域住民としての一体感を養うための交流を通して、エリアプライド（圏域の誇り・自尊心）の醸成をめざします。

¹ ICT（情報通信技術）の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。
※2004年にスウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授によって提唱された概念

2. 圏域人口の将来展望

圏域人口の将来展望については、それぞれの自治体の人口ビジョンを踏まえ、その総和である**133,859**人を2040（令和22）年の圏域人口の将来展望とします。



	2015(H27)	2020(R2)	2025(R7)	2030(R12)	2035(R17)	2040(R22)
将来展望	177,094	172,001	162,495	153,294	143,708	133,859
社人研推計	177,070	171,914	162,083	152,717	142,996	133,019

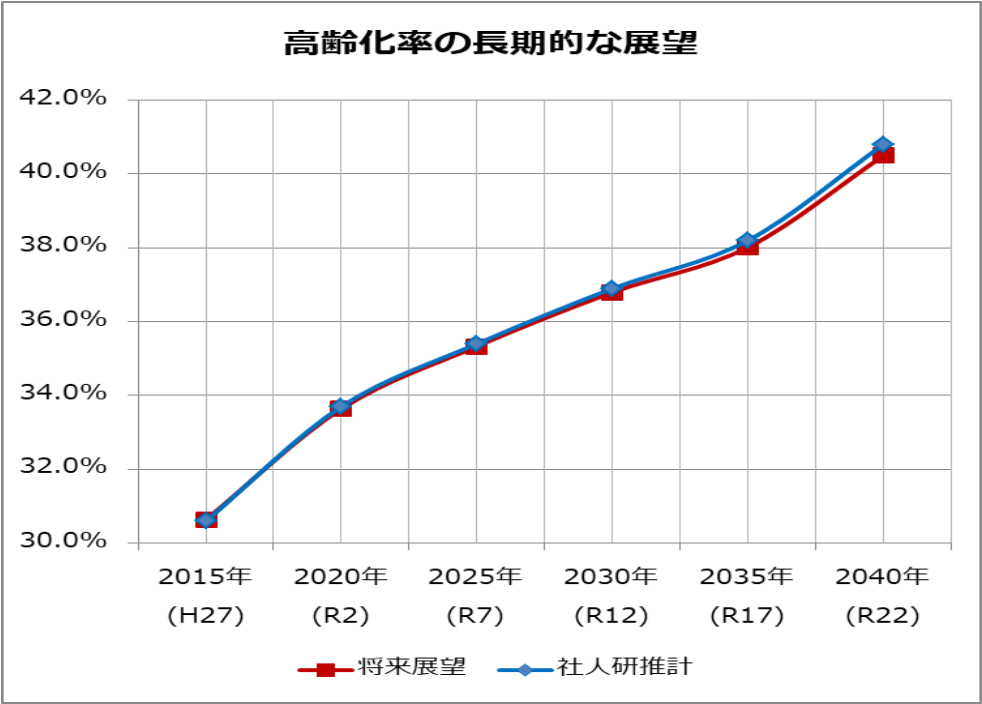
人口の将来展望の内訳

	2015(H27)	2020(R2)	2025(R7)	2030(R12)	2035(R17)	2040(R22)
伊賀市	90,581	88,766	84,149	79,441	74,749	70,033
笠置町	1,392	1,144	1,142	1,037	950	888
南山城村	2,652	2,478	2,280	2,069	1,849	1,633
山添村	3,674	3,226	2,959	2,674	2,394	2,102
名張市	78,795	76,387	71,965	68,073	63,766	59,203
合計	177,094	172,001	162,495	153,294	143,708	133,859

* 2015(H27)年、2020(R2)年は国勢調査の実績値

3. 圏域の高齢化率の将来展望

圏域の高齢化率については、2015（平成27）年国勢調査では、30%を超えており、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、今後も上昇を続けるよう推計されています。高齢化率についても、人口の将来展望と同様に、それぞれの自治体の人口ビジョンを踏まえることとし、2040（令和22）年の圏域の高齢化率の将来展望を**40.5%**とします。



	2015(H27)	2020(R2)	2025(R7)	2030(R12)	2035(R17)	2040(R22)
将来展望	30.6%	33.6%	35.3%	36.8%	38.0%	40.5%
社人研推計	30.6%	33.7%	35.4%	36.9%	38.2%	40.8%

老年人口及び高齢化率の将来展望の内訳

	2015(H27)	2020(R2)	2025(R7)	2030(R12)	2035(R17)	2040(R22)
伊賀市	28,677	29,606	29,084	28,373	27,553	27,451
笠置町	602	604	558	506	460	438
南山城村	1,116	1,199	1,165	1,072	945	839
山添村	1,555	1,570	1,506	1,379	1,217	1,058
名張市	22,273	24,923	25,142	25,127	24,521	24,472
合計	54,223	57,902	57,455	56,457	54,696	54,258
	30.6%	33.6%	35.3%	36.8%	38.0%	40.5%
(参考) 圏域人口	177,094	172,001	162,495	153,294	143,708	133,859

* 2015(H27)年、2020(R2)年は国勢調査の実績値

4. 中心市と連携市町村の役割

伊賀・山城南・東大和定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取り組みについては、連携事業としての必要性を考慮し、できることから着実に取り組んでいくこととします。

中心市である伊賀市は、圏域内の住民が安心して暮らしていけるよう都市機能を充実・強化し、圏域内の魅力の向上及び活性化等に取り組みます。

笠置町、南山城村、山添村及び名張市においては、伊賀市と連携を図りながら、生活機能の確保・充実に努めるとともに、各地域が有する地域資源を活かした事業に取り組みます。また、伊賀市とともに主体的・積極的に圏域施策に参画し、圏域全体のネットワーク強化に努めます。

5. 共生ビジョンの進行管理

取り組みを進めるにあたっては、時代のニーズや社会情勢の変化に対応するとともに、伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会等での関係者の意見を幅広く反映することとします。

さらには、伊賀・山城南・東大和定住自立圏推進協議会等、自治体間での協議・調整の場において、それぞれの取り組み成果の把握・検証を行うなど、PDCA サイクルを構築し、次の施策や事業へ繋げることとします。